

科目名	デッサン		科目コード	1005	
開講学科	美術学科	単位数	4(計)	形態	実習
教員名	戸塚弥夫、戎谷真木子				
授業の目的及びテーマ：					
デッサンの基礎は、まず視ることから始まるとの視点より、授業を通して視ることと描くことの意味を基本から考察し、体感することを目的としている。					
授業概要					
モノの存在、視るという行為、見る・感じることによって触発される描く(造る)ことへの意欲、ものの中に“考える”という働きが入って表現活動となる。この授業では、基礎的なデッサンの授業「デッサン研究」から、更に、対象を受講生自身でイメージ・制作し、描写することを主なテーマとして、視て・感じて・描くに『考えて』を加えた授業を行う。 通信課題にはトーンスケール・人物スケッチ、面棲授業課題には空き缶などの対象の描写とデッサンの基礎にも一部ふれている。					
授業計画：					
【通信課題】					
第1課題					
「2.1 トーン・スケールと平面構成」教科書『デッサン』p.31～p.34 参照					
「2.8 メビウスの輪」教科書『デッサン』p.45～p.50 参照					
「2.5 石膏レリーフのイメージデッサン」教科書『デッサン』p.62～p.71 参照					
＜課題提出様式＞					
B3 ケント紙(又は画用紙)にて計3点。ただし、は元となった形態(白黒のもの)を添えること。					
第2課題					
自分の身近な「人物」をポケットサイズのスケッチブックにスケッチをする。教科書『デッサン』p.87～p.103 参照					
＜課題提出様式＞					
ポケットサイズスケッチブックを2冊(教科書『デッサン』p.90, p.93 実寸参照)。スケッチブック表紙に1冊目、2冊目と明記すること。					
【面接授業課題】					
・1日目：鉛筆デッサン「石膏立方体デッサン」					
・2日目：鉛筆デッサン「3種の小石と割りばしの構成」					
・3日回：油性ボールペン「人物スケッチ」教科書『デッサン』p.87～p.103 参照					
・4日目～6日目：鉛筆デッサン「ペルソナ・仮面」教科書『デッサン』p.51～p.61 参照					
テキスト	テキスト教科書『デッサン』 (白石道夫、戸塚弥夫)		参考文献：		
評価方法：					
通信授業は提出課題(4件)を以って評価する。					
面接授業は受講態度、授業中提出物などにより総合的に評価する。					